

新成人は1,310人

合併後初の合同開催

1月8日、鹿屋市文化会館で平成19年鹿屋市成人式が開催されました。

昨年の成人式は、合併直後で旧市町ごとに開催されましたが、今年は初めて合同で開催。新成人は、鹿屋市全体で1,310人（男…640人、女…670人）になります。

新成人が生まれた当時、世界ではソ連のチェルノブイリ原子力発電所で大規模な原発事故が発生。鹿屋市では、国鉄大隅線の廃止や鹿屋ハイパスの鹿屋大橋開通、国立大隅

少年自然の家（現国立大隅青少年自然の家）のオープンなどがありました。

式典は、新成人の代表10人で行く鹿屋市成人式実行委員会が企画・運営を担当。同実行委員会のメンバーがステージに並んであいさつし、その後、山下市長が「鹿屋市の未来を担うのは、若者の豊かな創造力と熱い情熱です。皆さんのパワーとエネルギーを、お貸しいただきたい」と式辞。新成人を代表して博田勝志さん（旭原町）と川越愛

さん（白水町）が「今日の感動を忘れることなく、自らの行動に責任と、社会人としての自覚を持ち、悔いのない人生を送ることをここに誓います」と誓いの言葉を述べました。

また、式典終了後は、豪華景品が当たるお楽しみ抽選会も行われたほか、会場の外では、久しぶりに会った旧友と記念写真を撮る姿や時間を惜しんで語り合う姿が見られました。



式の受付は、中高校生のボランティアグループ「鹿屋っ子クラブ」が務めました。



式の企画・運営を担当した実行委員会のメンバー。



新成人の代表を務めた博田勝志さんと川越愛さん。



豪華景品が準備されたお楽しみ抽選会。



式典終了後は、会場周辺のいたる所で記念撮影！



会場となった文化会館は、色鮮やかな振り袖姿やスーツ姿の新成人で2階席まで埋め尽くされました。